



広島経済大学 キャリアアップ・プログラム通信(第 270 号)

2021 年 4 月 22 日 配信



◆広島経済大学 社会人対象講座キャリアアップ・プログラム◆

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

◇キャリアアップ・プログラム講師のルレーコラム◇

「シビックエコノミーとコミュニティビジネス」

広島経済大学 経営学部スポーツビジネス学科 准教授

1 学期「NPO でソーシャルビジネス、コミュニティビジネスを創り出そう」

中村隆行

1994 年、細内信孝氏がコミュニティビジネスの概念を日本において最初に提唱して 27 年が過ぎようとしている。近年は、経済産業省の促進施策もあり、このコミュニティビジネス、ソーシャルビジネスという言葉がよく使われるようになった。1998 年に NPO 法が施行されたのを契機に、事業型 NPO が、このコミュニティビジネスの担い手として注目された。一方、最近では、社会的企業や社会起業家も登場し、「市民が社会とのかかわりの中での活動から生まれる小さな経済」「市民による新しい経済活動」という意味で、これらを総称した言葉として、「シビックエコノミー」という言葉が登場してきている。

「シビックエコノミー」「市民経済」っていわれても、よくわからない。「シビック」と指していることも多岐にわたる。市民という言葉の中には、ビジネスをする人も、公共サービスを担う人もいたりする。市民というのは、あるコミュニティに属しながら自立性を持って、そこに参加する人とする見解もある。

ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスという言葉からは、社会的問題(社会的排除、環境、介護、子育て、開発援助など)の解決に事業性を持って当たるという主体の経済的自立の側面がうかがえるが、シビックエコノミーは、市民による「生産・流通・消費・蓄積のプロセスと社会的関係の新しい在り方、総対的な循環のシステム」に着目した言葉(柴牟田伸子 2016)ととらえられる。

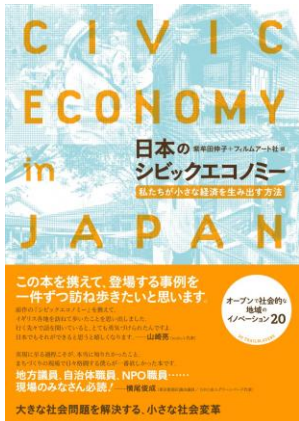
従来の「市民社会、市場、政府の3つの部門を明確に区別するというよりも、市民活動を通じて社会貢献を行なう決意と経済を融合させる人、ベンチャー、行動から成る経済」のことを「シビックエコノミー」だと定義される。

このようなシビックエコノミーが求められる社会的背景は、現在の社会状況の変化を背景としているようだ。今の社会状況の特徴を問えば、多くの人がそれぞれの見地からさまざま説明しうるであろう。その社会状況から、新たな仕組みや仕掛け、といった小さいかもしれないが、新しい何か、別の言い方をすれば、まちのスキマに生まれた小さな活動のように見える事業が、社会や地域を動かす契機となるものだ。シビックエコノミーは、市民による、市民のためのパブリックデザインともいわれる所以だ。少し抽象的議論にすぎたが、具体

的に地域での事業活動を見てもっと分かりやすいかもしれない。尾道空き家再生プロジェクト、岩手県柴波町の公民連携による「オガールプロジェクト」、地域のネットワークをつくる劇場型寺院 應典院、しづや大学、ひろしまシン大学といった学びで人とまちをつなぐ NPO の活動などなど…。自助、公助、共助といった社会のあり方を問い直す時代なのかもしれない。

◆今週の一冊◆

中村先生おすすめの書籍です。



『日本のシビックエコノミー』 紫牟田伸子+フィルムアート社=編(執筆者 江口晋太郎 太田佳織 岡部友彦 小西智都子 二橋彩乃) フィルムアート社

市場経済と重なるけれども、ちょっと違う。シビックエコノミーとは何か？シビックという言葉とエコノミーという言葉につられて手に取った本ですが、NPO に長く取り組んできた筆者としては、社会の利益となる活動を継続的に行うために、稼ぐ仕組みをつくり、事業活動へ回していく循環型経営の提唱に強く惹かれました。この本に取り上げられている「ケーススタディ 20」には、広島県尾道市の「尾道空き家再生プロジェクト」や多世代共生型の施設「ゴジカラ村」、多様な人の居場所づくりをする「コラボ合同会社」、猟師の6次産業化を目指す「里山保全組織」猪鹿庁など、工夫と示唆に富むおもしろい事例が報告されている。実践してみたいと引き込まれてしまった。2011年発行の「シビックエコノミー 世界に学ぶ小さな経済の作り方」には、イギリス、デンマーク、アメリカ、ニュージーランド、イタリア、オランダ、ドイツなどの事例も載っています。

◎事務局から◎

2021年度キャリアアップ・プログラムの受講申し込み受付中です！

1学期講座の申込締切は、4月30日(金)です。

◇2021年度 1学期開講科目のご案内◇

※科目名からシラバスを閲覧できます。

■「ビジネス文章表現」

講師：教養教育部 教授 木本一成

分かりやすく説得力のある文章を書くために、ビジネス文章表現の基本や文書作成の考え方について学びます。

★2021年5月24日(月)開始(毎週月曜全6回)

■「[NPO でソーシャルビジネス、コミュニティビジネスを創り出そう](#)」

講師:スポーツ経営学科 准教授 中村隆行

NPO とは何か、何ができるのか、社会貢献しつつ、持続可能な組織をどうやって作るのかについて考えます。

★2021年5月25日(火)開始(毎週火曜日全6回)

■「[日本経済入門](#)」

講師:経済学科 教授 野北晴子

世界的な大転換を迎えた今年、これから日本経済をどのように立て直していくか、国民一人一人が認識することが重要となります。氾濫する様々な情報の中で、冷静に分析・判断するための経済学的思考を身に付けます。

★2021年5月19日(水)開始(毎週水曜日全6回)

■「[経済学の基本](#)」

講師:経済学科 教授 新垣繁秀

経済学の基本的な内容を展開します。「経済学は選択の学問」と言われます。それを踏まえながら様々な経済問題を考えていきます。

★2021年5月19日(水)開始(毎週水曜日全6回)

■「[広告デザイン 基礎](#)」

講師:メディアビジネス学科 准教授 宮地英和

伝えるためのデザインに必要な発想法やテクニックについて学び、演習では実際に広告デザイン制作を体験していただきます。

★2021年5月20日(木)開始(毎週木曜日全6回)

■「[国際金融の基礎](#)」

講師:経済学科 教授 福居信幸

国際金融とは何か、またそれは私たちの生活にどのような影響を与えているのかを初めて国際金融の世界に触れる方にも分かりやすく解説します。

★2021年5月21日(金)開始(毎週金曜全6回)

■「[コーポレート・ファイナンス基礎](#)」

講師:経済学科 教授 重本洋一

企業の資金調達や投資活動はどのような判断基準で行えばよいのか?これらの点についてコーポレート・ファイナンス理論を踏まえつつ実例を用いて易しく解説していきます。

★2021年5月21日(金)開始(毎週金曜全6回)

2019年度の講座終了後のアンケートに寄せられた受講生の声の一部をお知らせします。

2021年度の受講をご検討の皆さまは、ぜひこちらをご覧ください、受講の参考にさせていただけたらと思います。

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/voice2015.html>

※2学期、3学期の講座についても申し込みを受け付けております。

詳細については、以下URLをご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元：広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局（082-871-9345）